資料３

委員から提出された「まちの将来像」に関する意見の整理

I.　共通する考え方や方向性

次期まちづくり計画の将来像（理念）の検討に向け、委員の皆さまから提出いただいた「まちの将来像（キャッチコピー）」と、そこに込めた思い・理由について、共通する考え方や方向性を整理しました。
※一つの意見に複数の考え方が含まれているため、関連する項目に整理しています。

① 人と人とのつながりがあり、誰もが安心して暮らせる町

人と人とのつながりを大切にし、誰もが安心して、心にゆとりを持って自分らしく暮らすことのできる町を望む意見がみられました。

・人と人とのつながりを大切にし、支え合いながら暮らせる
・医療、福祉、教育、交通、買い物など、安心して暮らし続けるための環境が維持されている
・子どもから高齢者まで、さまざまな世代が安心して暮らせる
・障がいの有無などにかかわらず、誰にもやさしい
・一人ひとりが自分らしい暮らしを選び、心にゆとりを持って暮らせる
・「ここで暮らしてよかった」「ここで暮らし続けたい」と感じられる
・名所や特別なものがなくても、自分の居場所があり、安らぎを感じられる

② 子どもや若者を育て、未来へつないでいく町

子どもや若者の育ちや学びを大切にし、町全体で次の世代を育て、その育ちが将来の町へとつながっていくことを望む意見がみられました。

・町で若者を育て、町外で経験を積んだ若者が再び町に戻り、町を支える循環をつくる
・子どもたちの創造力を大切にし、のびのびと未来を描ける環境をつくる
・ふるさと学習や探究学習などを通じて、地域と学校がつながり、町全体で人を育てる
・「住みたい」「帰りたい」「誇れる」と思える地域を次の世代へつないでいく

③ 豊かな自然や地域資源を守り、暮らしに活かす町

高津川の清流、水源、森林、里山、有機農業など、吉賀町を特徴づける自然や地域資源を大切にし、自然と共生し、その恵みを暮らしに活かしながら次の世代へ引き継いでいくことを望む意見が多くみられました。

・高津川の清流や、その源となる森林・水源を守る
・豊かな森や美しい里山とともに、心豊かに暮らす
・自然を守り育てながら、その恵みを受け続けられる環境をつくる
・森林や有機農業など、地域にある資源を暮らしや仕事に活かす
・自然を守るだけでなく、そこから生まれる恵みや価値を地域の中で活かす
・吉賀町ならではの自然、暮らし、文化を次の世代へつないでいく

④ 町の内と外がつながり、人やもの、知恵がめぐる町

定住人口だけにとらわれず、町内外の人がさまざまな形で吉賀町と関わり、人、もの、お金、知恵などが行き交い、循環することを望む意見がみられました。

・町外に出た若者が、再び町に戻ることができる
・移住・定住だけでなく、訪問、滞在、仕事、交流など、多様な形で町と関わることができる
・観光や農業体験、短期滞在などを通じて、気軽に訪れ、また戻ってくることができる
・町の中だけで閉じるのではなく、外から人や知恵が入り、地域に新しい動きが生まれる
・地域にある資源や価値を町外へ届け、外からも人、もの、知恵などが入ってくる
・広島都市圏など、町外の都市や地域とのつながりを町の強みとして活かす

⑤ 人口減少や小ささを受け止めながら、持続していく町

人口減少を前提として捉え、人口や経済規模の大きさだけを町の豊かさの物差しとせず、小さくても一人ひとりが心の豊かさやゆとりを感じながら、暮らしや地域の営みが続いていくことを望む意見がみられました。

・人口や経済規模の大きさだけを町の豊かさの基準としない
・物質的、経済的な豊かさだけでなく、心の豊かさやゆとりを大切にする
・人口が減少しても、人の暮らしや営み、人と人とのつながりがあり、地域として機能し続ける
・人口減少や人材不足の中で、これまでの仕組みをそのまま維持するのではなく、必

要な見直しを行う
・限られた人、財源、施設、地域資源を選択し、つなぎ直しながら活かしていく
・何を残し、何を変え、何に力を注ぐのかを町全体で考える
・「過疎地域」であることを前提としながら、その環境や特性を新たな可能性につなげる

⑥ 多様な価値観を認め、新しいことに挑戦し、変化していく町

これまでの考え方や仕組みにとらわれるだけでなく、多様な人や価値観を認め、一人ひとりの「やってみたい」を大切にしながら、新しいことに挑戦できることを望む意見がみられました。

・多様性を認め合い、一人ひとりが自分らしく暮らし、活躍できる
・人権、男女共同参画、多様性など、現代的な価値観を大切にする
・住民自身が「こんな町にしたい」「こんな暮らしがしたい」と考え、まちづくりに関わる
・一人ひとりの「やってみたい」を、まず試すことができる
・今あるものを守り続けるだけでなく、必要に応じて試し、変え、見直していく
・創業、UI ターン者による起業、企業誘致など、新しい仕事や活動が生まれる
・子どもから高齢者、移住者、外国人など、多様な人が活躍し、挑戦できる

■委員意見からみられる主なキーワード

委員から出された将来像やその理由から、これからの町づくりで大切にしたい考え方として、次のようなキーワードがみられました。

人と人とのつながり ／ 安心 ／ 心の豊かさ・ゆとり ／ 自然・水・森林 ／ 学び・次世代 ／ 町内外とのつながり ／ 住み続ける・戻る ／ 循環・めぐり ／ 挑戦・変化 ／ 持続 ／ 多様性 ／ 小ささ・人口減少 ／

II. 将来像・理由データのテキストマイニング結果

※テキストマイニングの結果は、ユーザーローカル テキストマイニングツール
（ https://textmining.userlocal.jp/ ）により作成しています。

【分析結果の見方】

（1）出現頻度順

各委員の将来像とその理由の中で、登場した回数が多い言葉を示しています。委員の意見に共通して現れる言葉や、全体的な傾向を把握するための参考結果です。

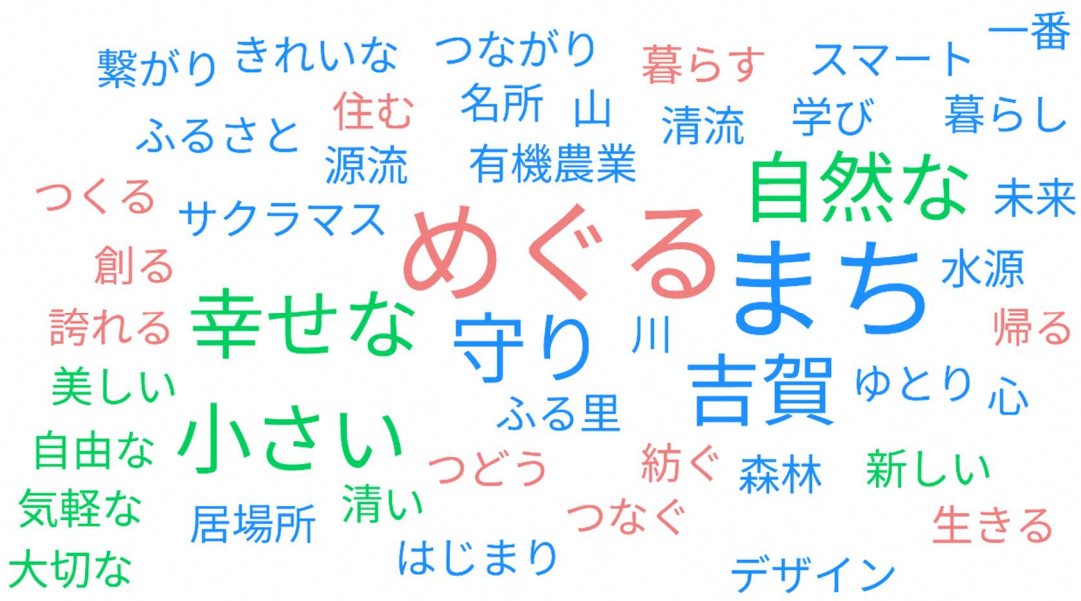
（2）スコア順

出現回数だけでなく、文章中での出現の仕方などから特徴的な言葉を抽出したものです。特定の委員が用いた固有性の高い言葉も上位になるため、委員全体の共通傾向ではなく、意見の中に含まれる特徴的な視点やキーワードを確認するための参考結果です。

1．将来像キャッチコピーのテキストマイニング結果

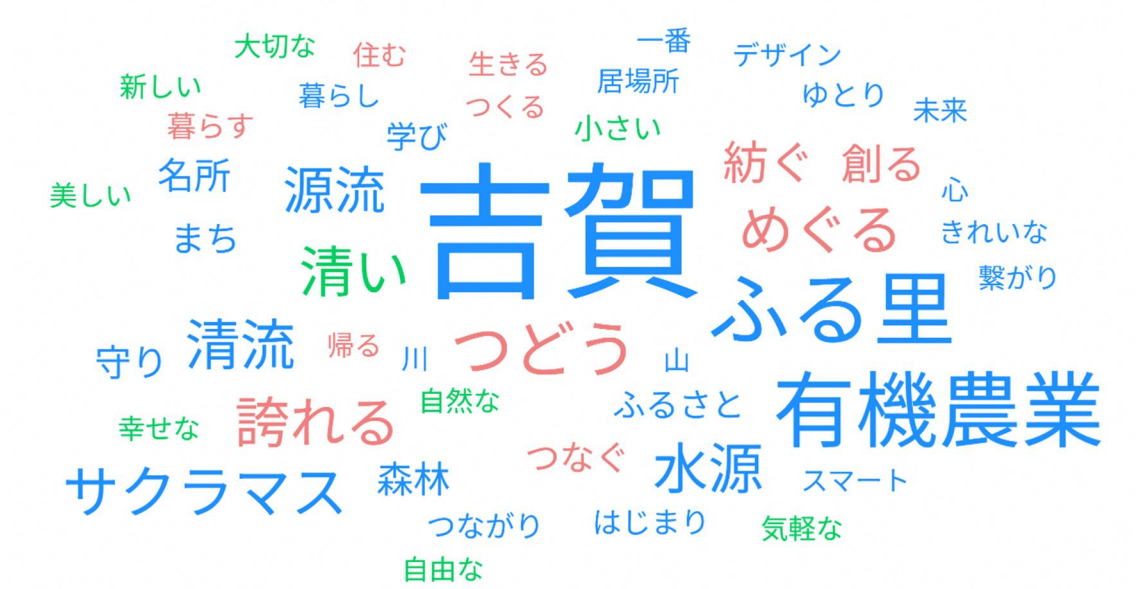
（1）出現頻度順

「めぐる」をはじめ、「まち」「守り」「幸せ」「自然」「小さい」などの言葉が多くみられました。また、「つどう」「つながり」「紡ぐ」など、人や地域のつながりを表す言葉もみられ、自然や地域の大切なものを守りながら、人や思いがつながり、めぐるまちをイメージする傾向がうかがえます。



（２）スコア順

「吉賀」のほか、「有機農業」「源流」「清流」「水源」「サクラマス」「ふる里」など、吉賀町の自然や地域資源を具体的に表す言葉が特徴的にみられました。また、「誇れる」「守り」「つなぐ」など、地域の特徴や大切なものを将来につないでいく視点も表れています。



「出現頻度順」からは「どんなまちでありたいか」、スコア順からは「何を吉賀らしさとして捉えているか」を確認することができます。

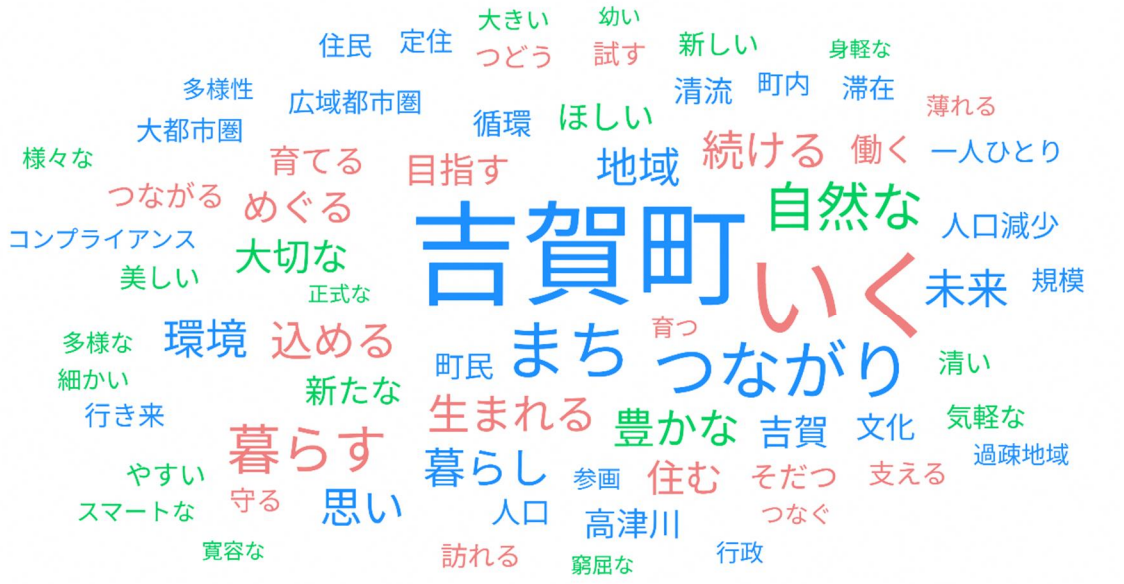
２．将来像キャッチコピー＋理由のテキストマイニング結果

（１）出現頻度順

「吉賀町」を中心に、「まち」「つながり」「自然」「地域」「暮らす」「未来」「大切な」「豊かな」などの言葉が多くみられます。

全体として、人や地域とのつながりを大切にすること、豊かな自然や地域の環境を守ること、吉賀町で暮らし続けられることなどが、複数の委員に共通する将来像の要素として表れていると考えられます。

また、「人口」「住む」「定住」「生まれる」「育てる」などもみられ、人口減少を背景に、住み続ける・住んでもらう・次の世代につないでいくことへの関心もうかがえます。

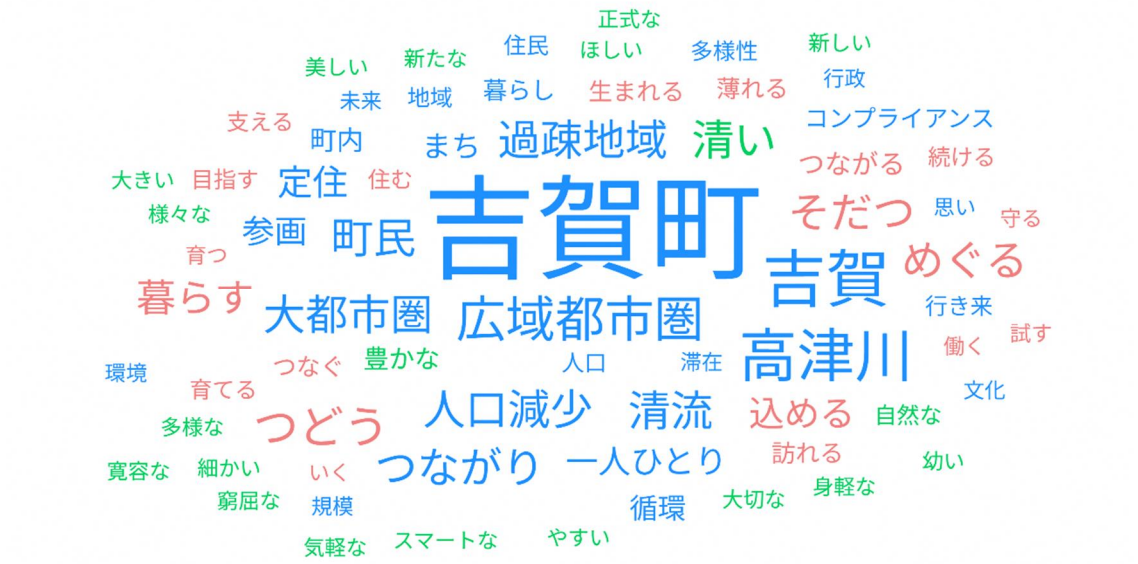


（２）スコア順

「吉賀町」のほか、「高津川」「清流」「広域都市圏」「大都市圏」「過疎地域」「人口減少」「定住」「町民」など、より具体的・固有性のある言葉が目立ちます。

特に、「高津川」「清流」など吉賀町の自然や地域資源を具体的に表す言葉と、「人口減少」「過疎地域」「定住」など地域が直面する課題や将来の暮らしに関する言葉が特徴的に現れています。

また、「広域都市圏」「大都市圏」などもみられることから、町内だけではなく、周辺地域や都市部との関係を含めて吉賀町の将来を捉える視点も一部の意見に含まれていることが分かります。



「出現頻度順」からは「将来像に共通する考え方」、スコア順からは「その背景にある地域資源や課題などの具体的な視点」を確認することができます。